



dog wood cat + cure

森のいぬねこ病院

09

2014.11

ニュースレター News Letter



こんにちは！森のいぬねこ病院院長の西原です。
秋の深まりとともに朝晩の冷え込みが増してきましたね。
体調管理に気を付け、今年も残り2カ月、頑張っていきましょう。
みなさんの大切な家族の健康管理は当クリニックにお任せください。
「気になるところは今年のうち」
Dr. またはスタッフまでお気軽にご相談ください。

仙台市青葉区芋沢字綱木坂 22-3
☎022-394-2520 (FAX共通)

森のいぬねこ病院

検索



[お問合せE-mail] info@morinoinu-neko.com



フィラリア予防もノミ・ダニ予防も通年予防がおすすめです!!

※森のいぬねこ病院では、開院当初から“通年予防”をおすすめさせていただいております。おかげさまで多くの飼主様にご理解をいただいております。ただ、新たに森のいぬねこ病院にいらっしやっていたいただいた方々の中には、まだ十分ご存知でない方も多いため、今回あらためてお知らせいただくものです。



■ 通年予防とは？

一般的に宮城県では、フィラリア予防は5月～11月、ノミ・ダニ予防は3月～10月の間実施されています。「通年予防」とは、それをどちらも期間限定せずに、一年を通して毎月予防薬を投与する予防法です。

■ どうして通年予防をおすすめするのか？

[フィラリア予防]

従来、フィラリア予防は、予防期間にきちんと投薬できていれば予防率は100%と言われていました。

しかし、それをしっかりと守っていたにも関わらずフィラリア症にかかってしまったワンちゃんが出ております。これは、予防薬が効いていなかったのではなく、年々の気温の変化によって、フィラリア予防の期間が変わってきているのではないかと考えています。実際に県南地方では、冬場でもフィラリア症を媒介する蚊が認められており、例年の予防期間だけでは100%の予防は難しいと思われま

[ノミ・ダニ予防]

一方、ノミ・ダニ予防に関しては、冬場でも家の中など暖かい場所に潜むノミに感染したワンちゃんやネコちゃんが来院するケースが増えてきています。フィラリア予防もノミ・ダニ予防も最早“冬は不要”とは言えない状況であり、確実に予防するためにも、通年投与をおすすめしています。

■ フィラリア症やノミ・ダニ感染ってどのくらい危険なの？

フィラリア症は蚊が媒介して、心臓に寄生する寄生虫病です。心臓に寄生したフィラリアは心臓の機能を悪化させ最悪の場合は死に至ることもある恐ろしい病気です。

ノミやダニの感染は人にも感染する病気も潜んでおり、近年話題の「重症熱性血小板減少症候群」等の命にかかわ

る病気を引き起こすリスクもあります。もはや狂犬病ワクチンや混合ワクチンで予防できる病気と同じレベル、発生頻度でみればそれ以上の危険性があると考えられます。

■ 通年予防を始めるには今がお得です

通年予防と従来の予防との違いの一つに「毎春のフィラリア予防」があります。従来は、毎春フィラリア検査を実施した上で、そのシーズンの予防薬が処方され、検査費用がかかってしまうのですが、通年予防なら、検査は不要になりますし、その費用もかかることはありません。今なら、従来の予防からの継続投与（最終投与から1ヶ月以内）ができますので、きちんと予防されている方であれば、検査無しでフィラリア予防薬を処方することができます。

■ 通年予防だとその分予防薬代がかかってしまうのでは？

森のいぬねこ病院では、「年間パック」として、**1年分の予防薬をまとめて処方させていただける場合に、予防薬の価格を50%OFF**とさせていただきます。

つまり、通年予防に取り組んでいただくと、6か月分の価格で通年予防ができ、しかも毎春のフィラリア検査も不要になります。従来の予防方法よりもお得です。

(詳しくは当院ホームページの価格表をご確認ください)

※年間パック価格は、通年予防を実施していただける場合にのみ、適用させていただきます。今の時期、ぜひ通年予防を取り入れていただければ幸いです。



ちょこっと耳より情報 ワンちゃんも乾燥肌にご注意!!

- ✓ 皮膚が弱いワンちゃん
- ✓ ストーブの前から離れないワンちゃん

チェックマークがひとつでも付くワンちゃんは、これからの季節、ぜひスキンケアに取り組んでください。

ワンちゃんも人と同じように、この季節は皮膚が乾燥しがちになります。ストーブやファンヒーターの前が大好きなワンちゃんは、しばらくすると皮膚が粉をふいたようになることもしばしばです。

乾燥はかゆみの原因にもなりますし、「粉ふいた」→「汚れた」→「シャンプーで洗う」→「余計に乾燥」という悪循環になってしまうこともあります。

そうならないためにも、

- 毎日こまめにブラッシングしてあげる
 - 余計な毛やフケを落とすことで、皮膚のコンディションを整えることができます。
- 保湿剤を使用する
 - ペットにもセラミドといった保湿成分が含まれた保湿剤は有効です。シャンプー後だけでなく、普段からの使用をおすすめします。
- シャンプーは低刺激のものを泡立てて
 - 強いシャンプーは洗い上がりスッキリするよう感じますが、皮膚に必要な皮脂まで落としすぎる可能性があります。

- かゆがっていたり、フケがひどい場合は動物病院へ
 - 普段は何ともないペットでも、この時期だけ皮膚炎になってしまうケースもあります。

特に保湿剤は「普段はなんともないけど、この時期はストーブの前に陣取って、カサカサになっちゃうのよね」というケースにおすすめてです。

ほとんどの場合、保湿剤だけでフケやカサカサを抑えることができます。

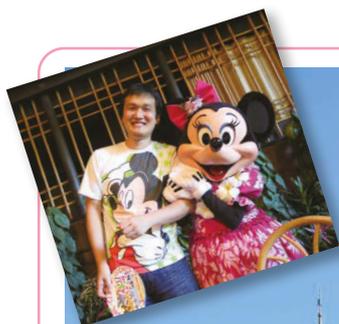
ちなみに森のいぬねこ病院で扱っている保湿剤は「PEセラミドオリゴノール
モイスチャースプレー」

(写真参照)

私もこの時期、手が荒れるのですがこっそりスプレーを使っています(笑) 結構いい感じですよ♪ぜひ“ワンちゃん限定”でお試してください!!



気になった方は
お気軽にスタッフまで
お声がけください



Dr.西原の歳時記

子どもたちの秋休みに合わせて、関東方面へ旅行に行ってきました。子どもたちと関東方面ということは…もちろん行き先は「あそこ」、夢と希望の国です。(笑)

予報ではちょうど台風が通過するというので、旅立つ前日までは、ハラハラドキドキ。おかげさまで当日は台風一過の晴天!! 心おきなく家族と楽しむことができました。

私も家族と一緒に過せる貴重な時間です。大いにリラックス&リフレッシュさせていただきました。これからも愛する妻、可愛い我が子のために粉骨砕身…って、あれ!? 写真が…。すっかり家族をおいて、夢の国の異性に参ってしまいました。(照)

ちなみに、西原ファミリーは私以外全員女性。奥さんと意見が割れた場合、多数決であっさり決まって便利です。

今年も残すところ二ヶ月をきりました。しっかりとペットの健康を支えられるよう頑張ります!!